

事務事業名	長後地域活性化事業費										担当課	部課名	市民自治部長後市民センター			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	06	課等の長	松森 裕二	電話	6281

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。						
事業目的及び必要性	郷土づくり推進会議において地域の課題を整理し、地域活性化事業に取り組むことで地域課題の解決を図り、住みよいまちづくりを実現する。						
対象	1. 個人	市民(長後地区)				33,738 人	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : )						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 長後すすくすく応援事業, 長後地区地産地消推進事業, 花いっぱい運動推進事業 )						
	<input type="checkbox"/> その他 ( )						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名				指針体系コード			
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進				4-3-101			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること		2.79 点	2.91 点	2.88 点	点		
		点	点	点	点		

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	報償費	60 千円	健康づくり普及事業にかかる講師謝礼
	需用費	1,056 千円	消耗品費, 施設修繕費, 印刷製本費
1,236 千円	負担金補助及び交付金	120 千円	花いっぱい運動推進事業補助金
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	報償費	120 千円	健康づくり普及事業にかかる講師謝礼
	需用費	609 千円	消耗品費, 施設修繕費, 印刷製本費
933 千円	負担金補助及び交付金	204 千円	長後すすくすく応援事業補助金, 花いっぱい運動推進事業補助金

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	2.10	2.06	2.06	3.27人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.80	0.80	0.80	1.23人工
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	
合計	2.90人工	2.86人工	2.86人工	4.50人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)				0.00人
---------------	--	--	--	-------

### 3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	①健康づくり普及事業:「健康講座」を専門機関と協働で4回開催。 ②長後すくすく応援事業:「長後子育てメッセ」を2回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ③地産地消推進事業:地産地消推進イベント「長後を食べよう!」を1回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ④地域人材発掘・育成事業:団体の活動紹介・ボランティア募集の情報紙「つなぐ」を1回発行し、ボランティア意識の向上を図った。 ⑤ちよご見守りネットワーク事業:「ちよご見守りネットワーク通信」を2回発行。 ⑥観光・歴史資源開拓事業:名所・旧跡の解説板を5基設置、ふるさと観光マップ「長後めぐり」を1,000部増刷。 ⑦交通手段支援事業:下土棚地区において、藤沢高等自動車学校の協力による送迎バスでの高齢者外出支援の実証実験を4月から6月の期間で実施し、延べ60人が利用。高倉の一部及び長後北部地域において、令和3年度後半予定の地域公共交通の実証運行に向けて、ルート・運行日・ダイヤ・停留所の設定等の運行計画(素案)の検討を行い、3月に運行予定地域の3,501世帯を対象に導入にかかるアンケート調査を実施。 ⑧花いっぱい運動推進事業:花の広場の定例作業を5回実施し、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等を実施。例年1回開催している花フェスタについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ⑨地域活動支援事業:防災・交通安全・防犯・生活環境衛生の啓発活動の支援。							
	成果 目標	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
		健康づくり普及事業の参加者数	人	300	300	300	300	
		長後すくすく応援事業の参加者数	人	440	440	440	440	
地産地消推進事業の参加者数		人	-	1,000	1,000	1,000		
参考								
活動 実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考	
	健康づくり普及事業の開催	回数	9	8	8	4	健康づくり普及事業については、新型コロナウイルス感染症を考慮し、参加人数を抑制し、密閉・密集・密接を避け開催。また、長後すくすく応援事業及び地産地消推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	
	長後すくすく応援事業の開催	回数	2	2	2	-		
	地産地消推進事業の開催	回数	1	1	1	-		
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考	
	健康づくり普及事業の参加者数	人	223	130	107	70	健康づくり普及事業については、新型コロナウイルス感染症を考慮し、参加人数を抑制し、密閉・密集・密接を避け開催。また、長後すくすく応援事業及び地産地消推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	
	長後すくすく応援事業の参加者数	人	456	350	304	-		
	地産地消推進事業の参加者数	人	-	1,000	300	-		
数値で表せない効果 地域の特性を生かした各事業の取組によって、地域全体の活性化及び住みよいまちづくりの実現に寄与した。								

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	23,519	23,583	24,352	37,593	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	24,080	23,930	24,334	35,006	
	事業費(支出済額)	962	1,301	1,296	1,236	
	償還金利子	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	23,118	22,629	23,038	33,770	
	①常時勤務職員等の給与等	22,178	21,662	21,848	32,190	
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0	
	③退職金相当額	940	967	1,190	1,580	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-561	-347	18	2,587	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-561	-347	18	2,587	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他( )	0	0	0	0	
	行政収益(事業収入) B	0	0	0	0	
	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0	
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	0	0	0	0		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他( )	0	0	0	0		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	23,519	23,583	24,352	37,593		
分析指標	項目	健康づくり普及事業の参加者数 F	223	130	107	70
	単位		人	人	人	人
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		105,466.37	181,407.69	227,588.79	537,042.86
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		55.02 427,501	54.93 429,317	56.23 433,060	86.40 435,121
受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の導入に向けた取組を行うことが課題。
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	下土棚地区…藤沢高等自動車学校の協力による送迎バスでの高齢者外出支援の実証実験を4月から6月の期間で実施。 高倉の一部及び長後北部地域…令和3年度後半予定の地域公共交通の実証運行に向けて、ルート・運行日・ダイヤ・停留所の設定等の運行計画(素案)を検討。また、運行予定地域の世帯を対象に、導入にかかるアンケート調査を実施。
(3) 令和2年度末時点の課題	地域公共交通の実施主体となる地域組織の人材確保。
(4) (3)解決のための今後の取組	すでに地域公共交通の運行を行っている地区の取組を参考にしながら、郷土づくり推進会議や地域団体など地域全体を対象とした人材確保に努める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	<b>① 法的根拠</b>		
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	<b>② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)</b>		
	<input type="radio"/>	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	<b>③ 事業期間</b>		
	<input type="radio"/>	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	<b>④ 事業費…令和2年度支出済額</b>	
		<input type="radio"/>	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		<b>⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合</b>	
		<input type="radio"/>	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
<b>⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合</b>			
<input type="radio"/>		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<p>少子化, 急激な超高齢化社会の到来を背景に, 老老介護, 買い物弱者問題, 災害時の助け合い等の地域課題の増大や複雑化, 自治会未加入, 役員の担い手不足等の地域との関わりの希薄化といった共通の地域課題がある。                  長後地区においても, 各地域団体において担い手となる人材が高齢化している現状がある。地域の絆, コミュニティの維持, 発展の必要性に対する認識は高まっているものの, 現役世代は仕事, 家庭が優先されるため, 地域活動への参加があまり見込めない状況がある。</p>	
	<p>他市においても, 地域住民と行政が協働し, 地域のまちづくりへの取組を行っている事例がある。</p>	
市民ニーズ	把握方法	<p>長後地区全体集会(令和2年12月)の開催を予定していたが, 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p>
	把握内容	
	対応等	<p>常に地域住民等から寄せられる情報・意見等の把握に努めるとともに, 課題によっては関係機関と連携して対応する。</p>

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>地域住民と行政が協働して, 地域の課題に取り組んでいることは, 地域コミュニティの維持及び発展に寄与しており, 重要である。</p>	
	<p>まちづくりテーマ</p>	<p>④ 健康で豊かな長寿社会をつくる</p>
今後の方針	<p>事業の方向性</p>	<p>現状維持</p>
	<p>地域のまちづくりを推進するために, 郷土づくり推進会議が主体となり, 地域の特長を生かしながら, 引き続き事業に取り組む。</p>	

## 9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	郷土づくり推進会議委員の選定について	無	無	1	
2	郷土づくり推進会議会議の開催について	無	無	1	2
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 10. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	平井 護	確認日	2021/8/6
----	-------	----	------	-----	----------